



J R九州労組

2024年

5月15日

No. 1125

九州旅客鉄道労働組合
業務部

発行責任者 吉田祥司

編集責任者 花田祐希

業務速報

天拝山駅で発生した事象 に対する専門協議会開催

中央本部は2024年5月10日に、「鹿児島本線天拝山駅で発生した事象に対する申入れ」について会社と専門協議会を行い、原因及び今後の再発防止策について協議した。協議内容は以下のとおりであるが、最近、駅や高架橋などからの落下事象が続いており、防止対策はより一層の強化が求められている。

<主な協議内容(抜粋)>

- 組) 今回の概況及び原因について明らかにされたい。
- 会) 下地木材の経年劣化により、跨線橋外壁材が落下したものと想定している。当日は夜間を含め緊急点検を行い、運休列車51本、遅延19本、最大で81分の遅延が発生した。
- 組) 当該駅の点検履歴等について明らかにされたい。
- 会) 2019年3月に同種事象が発生しており、その際は緊急点検を実施し、追加ビスの増し打ちを行っている。その後も定期的に検査を行っていたが、異常を発見できなかった。
- 組) 今後の対策について具体的に明らかにされたい。
- 会) 施工から35年が経過しており、同種箇所(九州内で68駅)の点検及び、劣化部へのビスの増し打ちを行っていく。また、下地材の健全度確認も必要と考えており、ファイバースコープなどを用いて壁材内部の点検実施も検討している。

<要求内容と回答>

要求内容	回答
1. 今回の事象の発生状況について、具体的に明らかにされたい。	1. 2024年4月2日17時27分頃、鹿児島本線天拝山駅において、跨線橋の外壁材が剥落し 4145M列車と衝撃し、飛散した外壁材の一部がホームで列車をお待ちのお客さまに接触したものである。
2. 今回の事象に対する会社の見解を明らかにされたい。	2. 極めて重大なものであり、同種事象の再発防止等への取組みを実施していかなければならないと考えている。
3. 当該駅の点検履歴について明らかにされたい。	3. 2022年6月20日に通常全般検査、2023年7月31日に繁忙期前点検を実施している。
4. 想定される原因について明らかにされたい。	4. 跨線橋外壁下地材の経年劣化等により、固定ビスの支持能力が低下したことで、跨線橋外壁材が落下したと想定される。
5. 再発防止に向けた対策を明らかにされたい。	5. 同種事象の再発防止のために、必要な対策を実施していくことになる。

事象の撲滅に向け、現場から安全に対する声をあげよう!



以上